

2008年4月8日

ブラザー工業株式会社/ブラザー販売株式会社(以下ブラザー)
キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社(以下キヤノン)
デル株式会社(以下デル)
セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社(以下エプソン)
日本ヒューレット・パッカード株式会社(以下日本HP)
レックスマークインターナショナル株式会社(以下レックスマーク)
郵便事業株式会社/郵便局株式会社(以下日本郵政グループ)

ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本HP、レックスマークは 日本郵政グループと協力し使用済みインクカートリッジの共同回収を開始

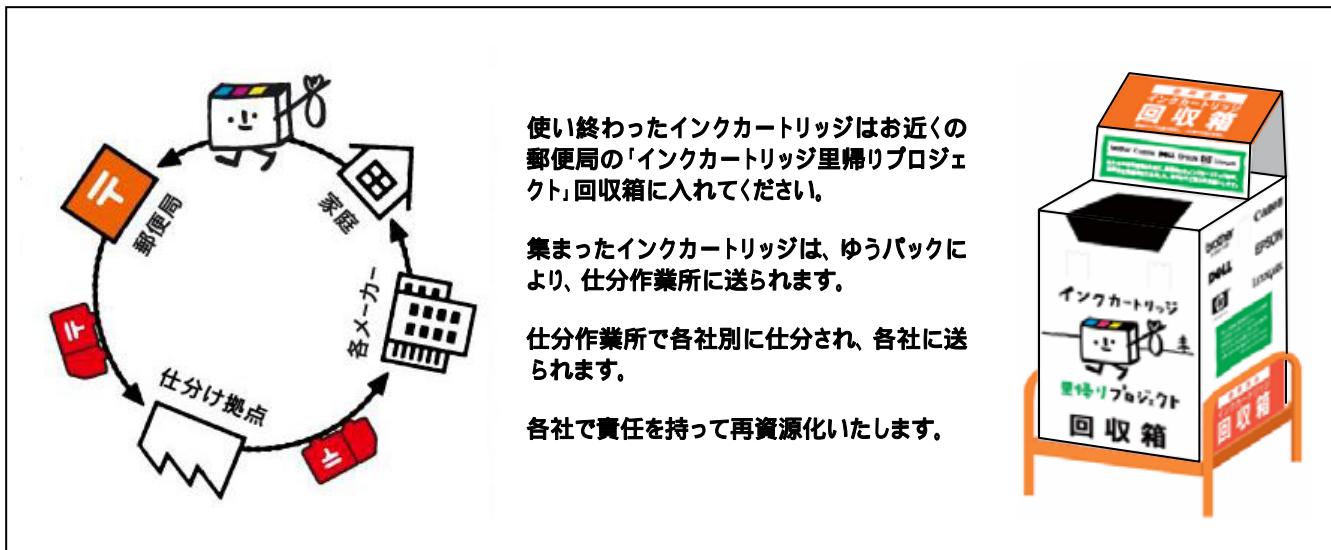
ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本HP、レックスマークの6社(アルファベット順)は、日本郵政グループと協力し、インクカートリッジ回収の利便性および回収率の向上を図るため、4月8日より全国の主要な郵便局3,638^{*1}局にて、家庭用プリンタの使用済みインクカートリッジの共同回収『インクカートリッジ里帰りプロジェクト』を開始します。

家庭用プリンタの普及に伴い、インクカートリッジは現在国内で年間約2億個が使用されていると推定されます。使用済みインクカートリッジの再資源化は、インクジェットプリンタを販売する企業の社会的責任として、地球環境保全を目指した循環型社会の形成に向け取り組まなければならない課題です。各プリンタメーカー及び販売元は、量販店窓口等を中心として独自に個別回収を積極的に取り組んでいますが、大半の使用済みインクカートリッジが家庭からの一般ごみとして捨てられているのが現状です。

このような中、ユーザーの利便性向上と回収率向上という観点から、ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本HP、レックスマークの6社は、日本郵政グループがもつ全国の郵便局と物流の仕組みを利用し、使用済みインクカートリッジの再資源化の流れを加速させるための共同回収活動に取り組むこととなりました。

お客様が日常的に利用する郵便局に回収箱を設置し、効率的な回収スキームを構築することで、使用済みインクカートリッジの回収量の拡大と安定した回収活動の持続性が見込まれます。今後とも6社はインクカートリッジの再資源化をさらに促進してまいりますので、是非ご協力ください。

インクカートリッジ回収の流れ



なお、回収された使用済みインクカートリッジの集約・仕分けは、障がい者雇用施設のミズベ作業所(長野県諏訪市)が担当します。今回の活動を通じて、障がい者雇用拡大の視点から社会貢献にも寄与してまいります。

以上

*1 2008年4月8日現在における回収箱設置郵便局数

本件に関するお問合せ先

【報道関係】

プラザー工業株式会社 広報・総務部	TEL: 052-824-2072
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 広報部	TEL: 03-6719-9093
デル株式会社 広報本部	TEL: 044-556-3450
エプソン販売株式会社 広報・宣伝部	TEL: 03-5321-9725
日本ヒューレット・パッカード株式会社 広報部	TEL: 03-3335-9199
レックスマークインターナショナル株式会社	TEL: 03-5649-0222
郵便事業株式会社 経営企画部門 涉外広報部	TEL: 03-3504-9798
郵便局株式会社 総務部 広報室	TEL: 03-3504-4127

【お客様のお問合せ先】

インクカートリッジ里帰りプロジェクト(IS)事務局	TEL: 03-3572-6660
---------------------------	-------------------